



七つ星
校訓「志高く」

和顔愛語

校長 前田 倍成

ある本の中で、とある伝統職人の座右の銘に『和顔愛語』という言葉が挙げられていました。意味合いは「和やかな表情と思いやりの言葉で人に接すること」とありました。

常々そうありたいと、同じようなことを心がけながらいるのですけれども、そうしたほうがいいときに限ってそうできなかったり、そうありたいと思い過ぎることがストレスになるときがあったりと、なかなかそう簡単ではありません。

ちょっと興味をもったので調べてみました。浄土教の根本聖典の一つである「大無量寿経」の中に「和顔愛語にして、意を先にして承問す」とあるのだそう。

和顔愛語：相手の身になり和やかで穏やかな笑顔と慈愛に満ちた温かい言葉を遣うこと
意先承問：先に相手の気持ちを察し、相手のために何ができるか自分自身に問うこと
…なるほど、そう簡単ではないわけです。

学校でも職場でもどんな環境でも、他者とコミュニケーションをとらずに済んでいくことなど、ないに等しいのですが、相手にそれを求めるより、先ず自分自身が無理なく心がけていくことで、周りや自分の力をしっかり引き出すことにつながるのではないかと考えます。現実にはそう甘くないわけですが…

最後に「和顔愛語」は「わけんあいご」と読みます。

—— 異学年交流で楽しい学校に ——

6年生が、自分たちで企画し実行しているのが「異学年交流」です。例えば、1年生との絆を深める取組や、下学年の子どもたちと昼休みにケイドロ鬼ごっこをしたり、誕生月の子どもたちに自分たちで折った折り紙をプレゼントしたりと、活動を重ねています。

こうした取組は、6年生のクラス目標や、高学年が目指す「貢献」の姿の実現に向けてのものです。目標に向けて、何をしていけばよいのかをみんなで考えて実行しています。



1年生と仲良くなろう！

—— 受賞、おめでとうございます ——

【第60回小中学生写生大会（気多大社）】

小学1年生の部 准最高賞 神尾 直歩

【いしかわ子ども交流センター七尾館 イラストコンクール】

七尾館長賞 6年生 戸野 陽葉



— 保護者の皆様へ —

【たくさんのご参加、ありがとうございました】

6月21日（水）の授業参観，非行被害防止講座，夏休みの生活説明会にはたくさんの方のご参加いただきましたこと本当にありがとうございました。PTA生活委員会の方々には，企画運営にお世話いただきましたこと，改めてお礼申し上げます。

また，志賀町図書館での小学校教科用図書展示にも足を運んでいただきましたことについても重ねて感謝いたします。皆様のご協力ありがとうございました。

【令和5年度志賀小学校学校評議員の方々です】

本校HPの「今日一枚」では紹介しましたがここで改めて紹介いたします。

櫻井 友晴さん，河野 重樹さん，岡田 政行さんの3名の方々です。

いずれの方も生涯学習，学校教育の分野について造詣が深いの方々であり，本校の取組等に対する評価を通して，貴重なご指導，ご示唆をいただけるものと考えます。どうぞよろしく願いいたします。



学校評議員のみなさんの授業参観